

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(沖縄県 平成28年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② 成果目標の具体的な実績②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
			計画時(平成23年)	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率		計画時(平成23年)	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他						
伊是名村	伊是名村	畑作物・地域特産物(甘味資源作物(さとうきび)) 平均糖度を3%以上上昇させる	15.1度	13.22度	14.10度	14.95度	15.56度	△32.6%	平均糖度が計画時に比べて1.0%、目標値に比べて4.0%低い。沖縄県の分蜜糖地域における平均糖度14.64に比べて2.1%高い。	畑作物・地域特産物(甘味資源作物(さとうきび)) トン当たり製造コストを10%以上削減する	23,380円	24,979円	17,844円	21,129円	21,042円	96.3%	トン当たり製造コストが計画時に比べて9.6%削減された。	農産物処理加工施設(分蜜糖製糖工場 300トン/日)	5,187,953,730	3,100,303,000	0	2,087,650,730	0	平成27年3月27日	①イネヨトウ被害により落ち込んだ甘味糖度も、伊是名村土づくり支援事業等による堆肥原料確保や緑肥の活用により、地力向上が図られ、甘味糖度の回復が進んでいる。 ②病害虫防除の徹底及び共同作業の実施等による生産量の増加に伴い、製造コストの削減が図られているものの、旧工場解体に伴う管理経費の増加により、目標の10%削減に対し、9.6%の削減となった。	①平均糖度は達成していないため、引き続き、トラッシュの再利用による地力増進を図るとともに、病害虫防除対策の強化や品種構成の適正化等に取り組む必要がある。 ②トン当たり製造コストは9.6%削減されており、成果目標を概ね達成されているものの、10%削減に向け、引き続き、トラッシュの再利用による地力増進を図るとともに、病害虫防除対策の強化や品種構成の適正化等に取り組む必要がある。	

都道府県平均達成率	31.8%	総合所見	平成24年度から平成26年度にかけて実施した産地競争力の強化(目標年度:平成28年度)の都道府県達成率は31.8%で、目標を達成することができなかった。伊是名村の事業については、平均糖度の目標は未達成(△32.6%)となり、トン当たり製造コストの目標は概ね達成(96.3%)されているものの、平均達成率は31.8%となった。トン当たり製造コストを10%以上削減する及び平均糖度を3%以上上昇させるという目標の達成に向けて、引き続き、トラッシュの再利用による地力増進を図るとともに、病害虫防除対策の強化や品種構成の適正化等に取り組む必要がある。
-----------	-------	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。